

タイトル	「後悔」から「航海」へ
ポーランド語のタイトル	Żeglując z żalem
テーマ *	d
名前	マグダレナ コルナシェフスカ
ポーランド語の名前	Magdalena Kornaszewska
学校名 * 2	ワルシャワ大学
学年	4 年生
日本滞在歴	なし

* a. 異文化理解 b. 現代の諸問題 c. 私の大切なもの d. 私からの未来へのメッセージから選択

皆さんは、タイムマシンと聞いて、どんな形を思い浮かべますか。私は船の形が浮かびます。というのは、時は海のようなものだと思うからです。皆さんはタイムマシンの船に乗って、過去に戻り、人生をやり直したいと思うことはありませんか。

私にもやり直したい時がありました。実は私は日本学科の三年生の時病気になり、手術を受けました。しかし、手術の後で合併症が起こり、その後三年間寝たきりになってしまったのです。あの三年間はつらくて苦しいことがたくさんありました。手術の傷口がふさがらず、さらに続けて四回も手術を受けました。実は、三回目の時は、手術をするとは知らされておらず、「もう、たくさん！いい加減にして！」と、泣き叫びました。が、泣いてどうにかなるわけもなく、人生の厳しさを実感しました。しかも、手術の後にはつらいリハビリが待っていました。毎朝六時に起きて歩く練習をしたので、家に帰る頃にはくたくたでした。その頃の私は「青春真っ只中のこの時期に寝たきりで、楽しいことは何一つない。どうして自分ばかりこんな目にあうの？」と、世をうらんでばかりいました。

そんな私を救ってくれたのは、友達でした。私の二人の親友は、どんなに忙しくても、週に一度は必ずお見舞いに来てくれました。そして、何てことはない普通のおしゃべりをしたのですが、それが病気のことを忘れさせてくれる、とても大事な時間となりました。この二人のおかげで悲しみが和らぎ、本当の友情を知ることができました。他にもいいことはありました。一人ぼっちの時間を利用して、以前は忙しくて出来なかった日本のゲームをするようになり、かえって日本語が上達しました。こうして私は健康の不安をなるべく感じないように、好きなことをたくさんするようになりました。

皆さんの中には、もしタイムマシンがあったら、人生をやり直したいという人もいるでしょう。人は、常に後悔しながら生きる存在です。でも今の私は、あの三年間をすべてやり直したいとは思いません。だって、もしやり直すなら、あの時病院で友達と過ごした優しい時間もみんな消えてしまうでしょう？

時という海は、穏やかな日も荒れる日もあります。が、すべては船をこぐ人にとって、経験という成長の糧になります。私にとっては、手術も入院生活も、成長するために必要な経験だったのです。後はもう、前へ進むだけです。過去には戻らず、自分の経験という船で時の海を越え、迷わず生きていこうと思います。さあ、皆さんも、一緒に未来へ向かって船をこいでみませんか。

Podsumowanie(60-70 słów)

Przeszłość jest wypełniona różnymi wspomnieniami – tymi szczęśliwymi, do których chętnie wracamy, a także bolesnymi, o których chcielibyśmy zapomnieć. Jednakże w trudnych momentach bierzemy kurs na „przeszłość” i często rozpamiętujemy to, co się wydarzyło. Tak również było w moim przypadku.